

意見等を反映させた箇所

【全体編】

3. 1 新たな「原田の森」の創造 【P2~3】

(2) 計画概要

- ・適切な照明配置やフットライトを活用した、明るく安全な空間整備とすることを明記
- ・桜を含む樹木について現状以上の本数を確保することを明記
- ・ユニバーサルな視点を取り入れた施設整備を行うことを明記

変更前	変更後
	<u>適切な照明配置やフットライトを活用した、明るく安全な空間整備</u>
	<u>桜を含む樹木について、新たな植樹などにより現状以上の本数を確保</u>
	<u>ユニバーサルな視点を取り入れた施設整備 (例：園地のバリアフリー化、インクルーシブ遊具、バリアフリースイレ)</u>

(3) 今後の検討に向けて

- ・公園周辺の既存樹木について保存に努めることを明記

変更前	変更後
	<u>防火樹林帯としても機能する公園周囲の既存樹木について、保存に努めます。</u>

3. 3 王子動物園の魅力向上 【P6】

(2) 計画概要

- ・動物収集計画（コレクションプラン）の調整種について、終生飼育することを明記
- ・動物収集計画（コレクションプラン）の新規導入方針について、今後希少種のみ新規導入するという誤解を与えかねないため、“等”を明記
- ・動物収集計画（コレクションプラン）の該当種について、該当種数及び種名を明記

変更前	変更後
調整種：繁殖を行わない。もしくは譲渡を促進	調整種：繁殖を行わない（ <u>終生飼育</u> ）。もしくは譲渡を促進
域外保全に貢献できる海外希少動物、国内希少動物（市内・県内）を新たに導入し、六甲山系から世界につながる生物多様性の保全教育を推進	域外保全に貢献できる海外希少動物、国内希少動物（市内・県内） <u>等</u> を新たに導入し、六甲山系から世界につながる生物多様性の保全教育を推進
50～60種	<u>56種</u>

<p>ライオン、ホッキョクグマ、フンボルトペンギン、カリフォルニアアシカ、シマウマ、ベニイロフラミンゴ、アカカンガルー、コツメカワウソ等</p>	<p>ライオン、ホッキョクグマ、フンボルトペンギン、カリフォルニアアシカ、シマウマ、ベニイロフラミンゴ、アカカンガルー、コツメカワウソ、<u>アビシニアコロブス</u>、<u>カピバラ</u>、<u>アフリカタテガミヤマアラシ</u>、<u>ワオキツネザル</u>、<u>ニッポンツキノワグマ</u>、<u>ベネットアカクビワラビー</u>、<u>フサオマキザル</u>、<u>ブラッサグエノン</u>、<u>ビントロング</u>、<u>ヨザル</u>、<u>コモンマーモセット</u>、<u>エジプトルーセットオオコウモリ</u>、<u>ボリビアリスザル</u>、<u>ボブキャット</u>、<u>シベリアオオヤマネコ</u>、<u>ショウガラゴ</u>、<u>シタツンガ</u>、<u>ヤギ</u>、<u>カイウサギ</u>、<u>モルモット</u>、<u>ロバ</u>、<u>ヒツジ</u>、<u>ラマ</u>、<u>タンチョウ</u>、<u>マナヅル</u>、<u>カンムリシロムク</u>、<u>アカコンゴウインコ</u>、<u>ニジキジ</u>、<u>コバタン</u>、<u>ルリコンゴウインコ</u>、<u>オオハナインコ</u>、<u>シロムネオオハシ</u>、<u>シロフクロウ</u>、<u>ホシハジロ</u>、<u>インドクジャク</u>、<u>ウミネコ</u>、<u>ユリカモメ</u>、<u>ホンドフクロウ</u>、<u>オシドリ</u>、<u>ベニコ</u><u>ンゴウインコ</u>、<u>キエリボウシインコ</u>、<u>オジロワシ</u>、<u>ビルマニシキヘビ</u>、<u>ケヅメリクガメ</u>、<u>ニホンイシガメ</u>、<u>グリーンイグアナ</u>、<u>キタイ</u><u>ンドハコスッポン</u>、<u>インドホシガメ</u></p>
--	---

<p>50～60種</p> <p>ダチョウ、エミュー、ヨーロッパフラミンゴ、フクロテナガザル、エゾヒグマ、カルガモ、アオサギ等</p>	<p>46種</p> <p>ダチョウ、エミュー、ヨーロッパフラミンゴ、フクロテナガザル、エゾヒグマ、カルガモ、アオサギ、<u>チベットヒグマ、インドタテガミヤマアラシ、キンカジュウ、コモンリスザル、アカハナグマ、ウマ（カカバ）、キビタイボウシインコ、パナマボウシインコ、ニシムラサキエボシドリ、カンムリヅル、コガモ、ハッカシ、アヒル、ガチョウ、ニワトリ、ホロホロチョウ、カワウ、ゴイサギ、シユバシコウ、オナガガモ、カモ雑種、コブハクチョウ、アカツクシガモ、セキセイインコ、フラミンゴ雑種、オオダルマインコ、ヒョウモンガメ、ニシキマゲクビガメ、アカアシガメ、マレーハコガメ、アンボイナハコガメ、セマルハコガメ、ミナミイシガメ、ヒラセガメ、クサガメ、ホオジロクロガメ、トウブハコガメ、ノコヘリマルガメ、オルナータハコガメ</u></p>
<p>130種程度</p>	<p>127種</p>

3. 4 公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上 【P.9~17】

3.4.1 緑の広場・シンボルプロムナード

(2) 計画概要

- ・親水空間や遊具等について、子どもの遊び空間として設置することを明記
- ・公園に必要な施設・機能を適切に配置することを明記

変更前	変更後
親水空間や遊具等の設置	<u>子どもの遊び空間として親水空間や遊具等の設置</u>
	<u>公園に必要な施設・機能（照明・トイレ等）の適切な配置</u>

(3) 今後の検討に向けて

- ・舗装材について、自然を感じられるものとするを明記

変更前	変更後
異常高温対策に資する遮熱性を高めた舗装材（現地発生土・木を活かした自然土系舗装やウッドチップ舗装等）、クールスポットとしてミスト等の導入を検討します。	異常高温対策に資する遮熱性を高めた <u>自然を感じられる</u> 舗装材（現地発生土・木を活かした自然土系舗装やウッドチップ舗装等）、クールスポットとしてミスト等の導入を検討します。

3.4.2 スポーツゾーン

(2) 計画概要

- ・スタジアムの防音対策について、具体的な騒音の規制基準を明記

変更前	変更後
観客席の屋根・壁・吸音材による防音対策の実施	スタジアムから発生する音に関して、兵庫県条例に定める騒音の規制基準、公園敷地境界で昼間 55 デシベル以下を遵守するため、観客席の屋根・壁・吸音材による防音対策を実施

(3) 今後の検討に向けて

- ・フィールド内だけを集中して照らせる指向性に優れたスタジアム 照明イメージを掲載
- ・スタジアム 整備イメージに、想定する高さを明記

変更前	変更後
	 <p>写真提供：株式会社 MLJ</p> <p>【スタジアム 照明イメージ】</p>
	<p>※スタジアムの高さは、フィールドの地盤面から防音壁を含め北側で 10m 程度、南側で 11m 程度（最も高い中央部）を想定しています。なお、スタジアム北側における東西道路との高低差は 2 m から 6 m 程度になります。</p>


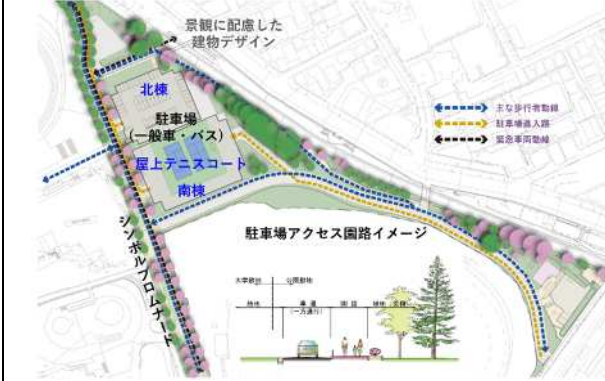
- ・みんなの広場利用等のイメージに、インクルーシブ遊具のイメージを掲載

変更前	変更後
	 <p>写真提供：株式会社コトブキ</p>

3.4.3 駐車場

(2) 計画概要

- ・ 立体駐車場の建物概要に、大型バスの臨時待機場所の確保と想定する建築面積を明記
- ・ 園内・周辺道路に、「歩行者分離」「車道部の一部拡幅」を明記
- ・ 駐車場・アクセス園路の計画図において緊急車両動線を追加

変更前	変更後
整備台数：500 台程度（平日は大型バス駐車枠を 20 台程度確保）	整備台数：500 台程度（平日は大型バス駐車枠を 20 台程度確保） ※ <u>立体駐車場以外にも屋外に大型バス 5 台程度の待機場所を確保</u>
建物概要：北棟 4 階＋屋上（駐車場利用）、南棟 3 階＋屋上（テニスコート 2 面）	建物概要：北棟（ <u>建築面積約 2,000 m²</u> ）4 階＋屋上（駐車場利用）、南棟（ <u>建築面積約 3,000 m²</u> ）3 階＋屋上（テニスコート 2 面）
駐車場アクセス園路（歩行者の安全を確保）	駐車場アクセス園路（ <u>歩車分離を図り歩行者の安全を確保</u> ）
市道阪急沿線の再整備（円滑な入庫動線の確保、市営駐輪場の再編）	市道阪急沿線の再整備（ <u>車道部の一部拡幅による円滑な入庫動線の確保</u> 、市営駐輪場の再編）
 <p>【駐車場・アクセス園路 計画図】</p>	 <p>【駐車場・アクセス園路 計画図】</p>

(3) 今後の検討に向けて

- ・ 駐車場 整備イメージに、想定する高さを明記

変更前	変更後
	※ <u>駐車場の高さは、現在の補助競技場の地盤面から 15m 程度、屋上テニスコートの防球ネットの高さは 10m 程度を想定しています。</u>

3. 5 広域防災拠点の機能強化 【P.18】



(2) 計画概要

- ・ 緊急車両の動線の確保を明記

変更前	変更後
緊急避難場所や救援活動拠点の確保	緊急避難場所や救援活動拠点、緊急車両の動線の確保

(3) 今後の検討に向けて

- ・ 防災機能 配置イメージに、緊急車両(大型車)動線を追加

変更前	変更後
 <p>◆公園全域 緊急避難場所 防火樹林帯</p> <p>◆スタジアム ヘリコプター着陸場 物資集積配送拠点 救援活動拠点</p> <p>◆駐車場 非常用電源 備蓄倉庫</p> <p>◆川沿い広場</p> <p>◆シンボルプロムナード</p> <p>◆大学ゾーン ◆大学 屋外避難場所 非常用電源 など</p> <p>◆動物園ゾーン</p> <p>◆緑の広場 救援活動拠点 雑用水の確保(雨水貯留、雨水貯留等) 太陽光発電(あずまや等) かまどベンチ など</p> <p>緊急車両(大型車)動線</p> <p>【防災機能 配置イメージ】</p>	 <p>◆公園全域 緊急避難場所 防火樹林帯</p> <p>◆スタジアム ヘリコプター着陸場 物資集積配送拠点 救援活動拠点</p> <p>◆駐車場 非常用電源 備蓄倉庫</p> <p>◆川沿い広場</p> <p>◆シンボルプロムナード</p> <p>◆大学ゾーン ◆大学 屋外避難場所 非常用電源 など</p> <p>◆動物園ゾーン</p> <p>◆緑の広場 救援活動拠点 雑用水の確保(雨水貯留、雨水貯留等) 太陽光発電(あずまや等) かまどベンチ など</p> <p>緊急車両(大型車)動線</p> <p>【防災機能 配置イメージ】</p>

【王子動物園編】

2 計画のポイント 【P.2】

(1) 動物収集計画（コレクションプラン）

- ・動物収集計画（コレクションプラン）の調整種について、終生飼育することを明記
- ・動物収集計画（コレクションプラン）の新規導入方針について、今後希少種のみ新規導入するという誤解を与えかねないため、“等”を明記
- ・動物収集計画（コレクションプラン）の該当種について、該当種数及び種名を明記

※【全体編】と同様

3 施設の整備方針【P.8】

(2) 来園者の利便性を高める施設整備

- ・2) 動物科学資料館のリニューアルの標題において、〈まもる〉のアイコンを明記

4 王子動物園が目指すべき方向性と具体的な取り組みの方針 【P.12】

(2) 動物を通して自然や環境への扉をひらく教育の推進

- ・教育プログラムの充実に、動物とのふれあいを通じた学びの機会を提供することを明記

変更前	変更後
自然保護団体等と連携した園外での自然観察会や参加型の調査活動の他、環境負荷低減を促進する再生可能エネルギーの活用、商品の導入・廃棄物削減等の活動を通じた環境教育等、新たな教育プログラムにも取り組み、来園者が動物や自然環境への興味・関心を持ち、より理解が深まる学習機会を提供していきます。	自然保護団体等と連携した園外での自然観察会や参加型の調査活動の他、 <u>動物とのふれあいを通じた学びの機会</u> や環境負荷低減を促進する再生可能エネルギーの活用、商品の導入・廃棄物削減等の活動を通じた環境教育等、新たな教育プログラムにも取り組み、来園者が動物や自然環境への興味・関心を持ち、より理解が深まる学習機会を提供していきます。